

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会熊本市支部

熊本市支部技術部会における先進地視察研修の開催について

熊本市では、青果物冷凍加工施設の整備に併せ、令和元年度から加工用ハウレンソウ産地の形成が進んでいます。昨年度は、7名が約17haで栽培を行い、安定生産技術の確立に取り組みました。

近年、新型コロナウイルス感染症の影響で、県外先進地での視察研修は実施できませんでした。しかし、本年2月に先進地である宮崎県で視察を受け入れていただき、生産者も含めた初めての先進地研修を行いました。

まずは、JAフーズみやざきに原料を納品しているアグリトピア尾鈴及びJA西都において、生産ほ場を見ながら、栽培方法について説明を受けました。両者は、施用体系が異なるものの、堆肥及びカルシウム剤の積極的利用、品種構成等に共通点がありました。

次に、九州沖縄農業研究センター都城研究拠点では、草高を確保するには根域の深さを確保する必要があること、一定以上の収量を確保するには窒素成分が30kg以上/10a必要であることを学びました。

当地域と宮崎県では土質等が大きく異なりますが、今後、品種選定や土づくりにおいて、今回の研修内容を活かし、増収や生産安定へ繋げていきます。



左上：栽培ほ場の様子
右上：アグリトピア尾鈴での説明
左下：九沖農研での座学